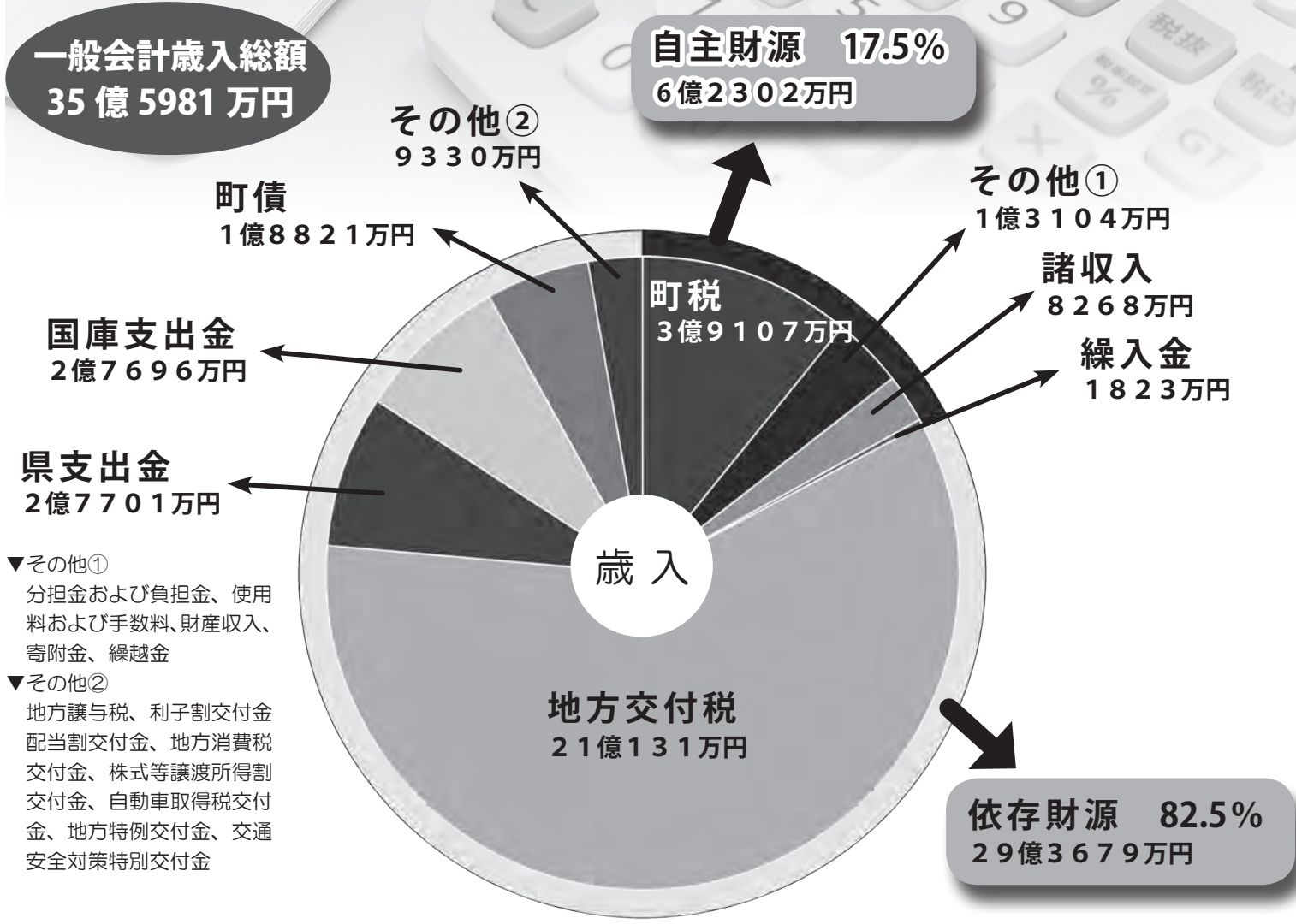


# 平成 22 年度一般会計決算

## まちの家計簿 2010

9月に開かれた第6回町議会定例会で、平成22年度のまちの歳入・歳出の決算が認定され、一般会計では、約3億161万円の黒字となりました。まちがどのようにお金を使ったのか概況をお知らせします。



### ▼一般会計 歳入

厳しい状況に変わりなし  
平成22年度一般会計の歳入（まちに入ったお金）は、合計約35億5981万円。平成21年度と比べ、約3%増加しています。

歳入全体に占める割合で見ると、国から交付される地方交付税が最も大きく、総額約21億131万円。歳入の59%を占めています。次に占める割合が大きいのは、町税の約3億9107万円、まちの皆さんからの町民税や固定資産税などです。さらに県支出金の約2億7701万円と続きます。

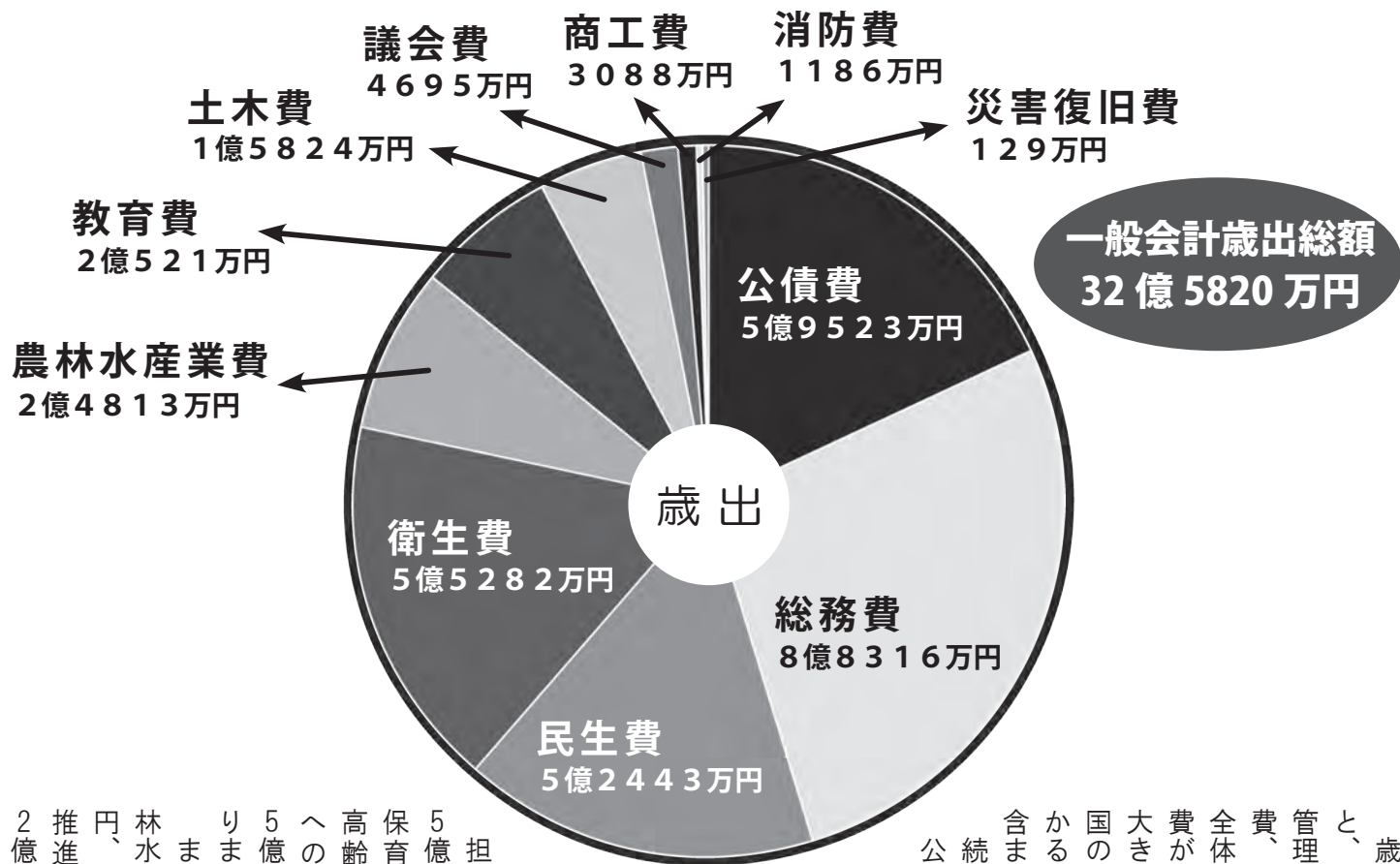
これら歳入を財源の性質から見ると、町税や諸収入などの自主財源が総額6億2302万円、全体の17.5%であるのに対し、国や県からの地方交付税などの依存財源は総額29億3679万円で、全体の82.5%となっています。

前年度の81.9%と比べると、より依存度が高くなっています。

### ▼一般会計 歳出

#### 適性な歳出を継続

平成22年度一般会計の歳出（まちが使ったお金）は、合計約32億5820万円。前年度と比べ、約2%減少しました。



歳出全体に占める割合で見ると、庁舎管理や県西部広域行政管理組合負担金、過疎バス対策費、財政調整基金積立金など、全体的な管理事務に使った総務費が約8億8316万円と一番大きくなりました。この中には、国の経済対策で行った事業にかかる費用約1億8839万円が含まれています。

続いて、町債の返済金である公債費が約5億9523万円円とまだ借金返済の割合が多いながらも、約1億1808万円減少しました。

次いで、保健事業や簡易水道特別会計への繰出金、ごみ処理を行う日野町・江府町・日南町衛生施設管理組合負担金、日野病院への負担金などに使った衛生費が約5億5282万円、福祉事業や保育所運営、介護保険・後期高齢者医療保険特別会計などの繰出金などの民生費が約5億2443万円という順になりました。

また、農林業振興に使った農林水産業費が約2億4813万円、小中学校の運営や生涯学習推進などに使った教育費が約2億521万円となりました。

## 特別会計

一般会計からの繰出金は合計約3億2450万円

町には、一般会計とは別にそれぞれ運営されている7つの会計があります。平成22年度の決算は下の表のとおりです。

よく新聞などで公表されているのは一般会計だけであり、この特別会計はあまり表に出ません。しかし、一般会計を圧迫している原因のひとつに、この特別会計への繰出金があります。平成22年度では7つの特別会計へ、合計約3億2450万円を一般会計から繰出ししています。前年度と比べ、約6442万円減少しています。

7つの特別会計への繰出金にも国の基準が設けられており、医療費や介護にかかる介護保険特別会計や後期高齢者医療保険特別会計などは、皆さんが納める保険料と国や県などの補助金法で定められた町の繰出金で賄われています。

よって、医療や介護にかかる費用が多くなればなるほど町の負担も増え、一般会計から特別会計に繰出すお金も増える仕組みとなっています。

上下水道整備の借金にも繰出し金が

また、簡易水道特別会計、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計は、利用者の使用料と決められた一般会計からの繰出金で運営されていくのが本来ですが、下水道や水道を整備する際に借金をしており、現在、その償還がピークで、使用料だけでは赤字になるため一般会計が赤字部分を補っているのが現状です。

### 平成22年度特別会計決算の状況 (単位：千円)

会計名	歳入決算	歳出決算	歳入歳出差引額
国民健康保険	440,234	420,560	19,674
老人保健	252	252	0
介護保険	572,692	558,458	14,234
後期高齢者医療保険	52,714	52,564	150
簡易水道	111,976	111,976	0
公共下水道事業	135,073	135,073	0
農業集落排水事業	69,303	69,303	0